

朝の礼拝

聖書 イザヤ書 9章5節 (旧約聖書1074頁)

ひとりのみどりごがわたしたちのために生まれた。

ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。

権威が彼の肩にある。

その名は、「驚くべき指導者、力ある神

永遠の父、平和の君」と唱えられる。

折り鶴

先週は三年ぶりのスポーツ大会がありました。競技より応援の悲鳴が印象に残りましたが、学年対抗の下克上には驚かされました。まるでサッカーWカップの日本代表がドイツやスペインのような優勝経験のある大国を破ったジャイアントキリングのようでした。

またWカップでは試合後の日本サポーターの清掃する姿、そして選手ロッカーに残された感謝の言葉と折り鶴がSNSで世界に広がり話題となりました。特に代表が最後に残した上を向く折り鶴は国境を越えて平和への祈り、希望、勇気を与えているようでした。

聖書では神様は大きいことや強いことよりも、小さくて弱いものに価値をおいています。イエス様は幼な子を抱いて祝福しています。そして自分から離れ、逃げ、隠れる弟子たちに「平和があるように」と声をかけ、共に食事をする姿が伝えられています。

預言者イザヤは戦禍に怯える人びとに「みどりご」が生まれ「平和の君」となると預言し、やがて飼い葉桶に寝かされた赤ちゃんがそれを実現しました。敗戦後の日本、特に広島、長崎、沖縄には世界からいまも小さな折り鶴が寄せられ、平和の祈りは続いています。

(しばらく黙想しましょう)

真理と平和の源である主よ、すべての人の心に平和を愛するまことの愛を燃やし、国々の交わりに携わる人びとに、平和を造り出す知恵を与え、主の愛を知る知識をこの世界に満たしてください。特に戦禍にあるウクライナの方々、祖国を追われた難民の人びとに必要なものが与えられますように。今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン